

令和5年度1回愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会

Web会議 議事録

令和5年7月20日（木） 13:30～14:50

出席者 (43名)	NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会	松本	愛媛県立中央病院	濱田、渋谷、箱岡、小笠原、武田、外山、松田
	愛媛県庁健康増進課	三宅、田坂		
	愛媛大学医学部 附属病院	塩見、古川	松山赤十字病院	中田、佐伯、高須賀、池田、門田
	済生会今治病院	松岡、斉藤、菅	市立宇和島病院	黒田、川中、大久保、沼田
	住友別子病院	和田、高橋、山地		
	松山市民病院	三谷	四国中央病院	高木
	HITO 病院	守屋	十全総合病院	松本
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	平岡
	市立八幡浜総合病院	高橋	四国がんセンター	羽藤、長谷部、高橋、岸田、谷本、福島、大西、関木
愛媛労災病院	田中			
事務局	四国がんセンター	安宅（事務担当）		

I. 報告・協議事項

1-1)

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

（第20回 5/26 オンライン配信）

福島 美幸（四国がんセンター）

- ・第4期がん対策推進基本計画について（資料P9）

分野別目標の3つの柱の中に、がんとの共生があり、相談支援の情報提供の充実、がん患者のサバイバーシップ支援、アピアランスケアの課題の克服があげられている。その基盤として、がんの知識について普及啓発の重要性がうたわれているため、今後、協議会や施設間での情報共有を推進していくことが求められている。

- ・がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）について（資料P10（3））

取り組むべき施策として、両立支援や医療機関と産業保健との連携、普及啓発、拠点病院を中心としたアピアランスケアにかかわる相談支援・情報提供体制の構築があげられている。サバイバーシップ支援に関する中間評価から必要と考えられる事項として、治療開始前からの就労支援に関わる情報提供や患者だけでなく、家族や企業の支援者に対する支援を充実させていくことが必要と考えられている。また中小企業での取り組みについても推進が必要となるため、アピアランスケアや生殖機能での影響に関する説明、診断後1か月以内のがん患者の自殺などの社会問題について、引き続き検討が必要である。また、サバイバーシップ分野の見直しの検討もされている。

- ・令和5年度厚労省 アピアランスモデル事業について（P13～16）
 四国がんセンターも採択されており、1年間のみの実施であるが、相談員も受講できるような研修会の企画を検討している。
- ・PDCA チェックリスト改定について
 がん相談支援センターPDCA チェックリスト改定に関するアンケートを実施し、特に大事だと思う項目についての結果や意見をまとめた。（資料 P24～26 参照）また、九州がんセンター院長（藤先生）を中心として、がん診療連携拠点病院の機能・活動をロジックモデルにより整理し、ベンチマークでできるような評価項目の検討が行われている。本部会の PDCA チェックリストが、藤班で作成される病院全体の評価項目の一部として整合性が取れていることが望ましいため、今後はロジックモデルに反映できるように取り組んでいくということが提案された。情報が入り次第協議会で共有していく。
- ・静岡県における小児がん長期フォローアップ体制整備の取り組みについて
 静岡県では、小児・AYA 世代がん部会 AYA チームを発足し活動している。小児がん長期フォローアップはなぜ必要なのか、小児がん患者が抱える問題点、成人移行支援などについて紹介されているためご覧いただき、今後の支援に活かしていただきたい。
- ・アピアランスケアについて
 モノをすすめたり、美容的な技法を用いること＝アピアランスケアでない。患者さんが「自分らしく」「社会とつながり」生活ができるように支援することが必要である。国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターのウェブサイトには患者向けの資料がダウンロードできるため、積極的に活用してもらいたい。また、今年度下期にアピアランスケアについての e-learning が一般公開予定となっている。

1-2)

県内のがん治療提供体制の把握や公表に関する取り組み～がんサポートサイトえひめの歴史～

がん登録専門部会長 寺本 典弘（四国がんセンター）

- ・がんサポートサイトについて
 協議会や拠点病院の義務として、がんの情報をまとめて分かりやすく情報提供するようになっている。定義としては県の協議会が、愛媛県より受託したがん情報サイト。がん登録専門部会と、相談支援専門部会が合同 WG として、作成している。2016 年に開始当時はがん登録のデータのみであったが、患者の意見を聞きながら、今日のサイトの内容になっている。サイトの目標としては、患者目線のホームページを目指しており、ターゲットはがんと診断されたばかりで動転している患者としている。がん種別では、5 大がん、罹患数が多いもの、社会的インパクトが高いもの、を中心として選んでいる。自分がどこに行ったらいいのかわからない方のためにどうしたらいいかや、生活に困ったときに相談できる連絡先を記載している。サイトへのアクセスは年々増えてきており、25000 件程度。中央保健協会の方を中心に、健康診断で陽性となった方に対して、がんサポートサイトの小冊子を配っており、これからどのような検査が待っているのか、本人が知ることができる。

(質疑応答)

Q: 新要件では、「小児がんの長期フォローアップ中の患者について、小児拠点病院と連携する医療機関と情報共有する体制を整備すること」と明記されている。愛媛県には、小児拠点病院がないが、対象医療機関の情報共有をしておきたい。小児がんのフォローアップについてどのような取り組みをされているのか報告していただきたい。

A: 愛媛大学病院: フォローアップについては小児外来中心を行っている。特殊性が高いため、相談員が中心となるのではなく、医師や看護師が協働し実施している。

県立中央病院: 昨年度末まで、石田 Dr が長期フォローアップを行っていたが、非常勤となった現在も定期的にフォローアップしている。症状がない場合は、20 歳代までは年 1 回は小児科でフォロー。親元を離れる場合 (18 歳頃) までは、医療者中心でフォローを行っていくが、それ以降は自分で受診行動がとれるように情報提供している。症状があった場合には、成人の診療科へ移行していく。

松山赤十字病院: 初期の抗がん剤や、再発のない方を中心に小児科医が中心としてフォローしている。学校生活や日常生活の悩みを聞き取り、各科へ院内紹介している状況。

2. 「若年がん患者在宅療養支援事業」「ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業」、「小児・AYA 世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業」等の県内動向について

田坂 慎太郎 (愛媛県健康増進課)

・若年がん患者在宅療養支援事業について

介護保険対象外の 40 歳未満の方が対象。訪問介護や福祉用具の利用について、月額 6 万円を上限に、患者の自己負担を 1 割とし、残り 9 割を県と市町が助成する制度。

令和 4 年度の申請が、1 市しか報告がない状況であり、広報の方法についても検討していきたい。

・小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について

将来子どもを産み、育てることを望む小児・AYA 世代のがん患者等が希望をもってがん治療等に取り組めるように、治療費の一部を助成する制度。国から 1/2 の助成を受けており、妊孕性温存療法の有効性・安全性の研究も目的となっている。昨年度の申請は 11 件。

・ウィッグおよび胸部補正具購入費助成制度

現在、西条市・今治市・宇和島市にて実施しており、ほかにもいくつか令和 6 年度以降の実施を検討している市町がある。また、今治市のみ、弾性着衣 (弾性ストッキング・弾性スリーブ、弾性グローブ) も助成対象となっているため、今治在住の方には積極的に周知していただきたい。

(質疑応答)

Q: 妊孕性温存療法研究促進事業について、今年度は現在までにどのくらいの申し込みがあるか。

A: 今年度は 1 件、予算的には 9 割残っている状況である。年度末に予算残額が少なくなった場合には、来年度に延ばして申請をお願いするなどの調整をさせていただく可能性もある。

3. 愛媛県がん対策推進計画の改定について

田坂 慎太郎（愛媛県健康推進課）

- ・令和5年3月に改定された国計画では、全体目標として、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す」ということ、分野別の目標として、「がん予防」「がん医療」「がんとの共生」「これらを支える基盤」が掲げられている。
- ・がん対策推進基本計画（国計画）の見直しのポイントについて
がんとの共生の中で、アピアランスケアが独立した項目として、記載されるようになった。
今回、都道府県計画を作成する中で、がん対策の進捗管理にあたり PDCA サイクルの実効性確保のため、ロジックモデルの活用を検討することとされており、その点が大きな変更点である。
現在、県計画のロジックモデルの素案について、がん対策推進委員コアメンバーを中心に、作成しているところである。
- ・令和3年度の愛媛県計画の中間評価について情報提供。（当日資料 P21）県計画を見直すためにも、どのような指標が使えるかなど、引き続きご相談させていただきたい。

4. 都道府県がん診療連携協議会四国ブロック会より

松岡 誠子（済生会今治病院）

- ・情報支援研修について
今年度、来年度は香川県が会長県となっている。
今年度は、徳島県・香川県が担当となり、11月11日（土）に
「情報から始まるがん相談支修～地域展開版を実施予定となっている。日々の相談支援の中で、いかに正しい情報を相談員が入手し、患者へどのように提供していくかを学べる研修となっているため、周知していただきたい。

5. 各ワーキングからの報告

福島 美幸（四国がんセンター）

1) 相談員研修 WG

- ・令和5年度第1回 QA 研修「相談対応の質保証を学ぶ」について
令和5年9月2日（13:00～17:00）に開催予定となっている。申し込み数は現在10名程度。
「認定がん専門相談員制度」におけるⅢ群研修の単位認定を受けた。

2) 広報活動 WG

大西 明子（四国がんセンター）

- ・健康フェスタ 2023 in いはま出張相談会について
令和5年5月14日（日）に住友別子病院主催で出張相談という形で参加した。活動報告書については、協議会のHPへ掲載する予定。
- ・今年度の広報 WG の主な活動について
今年度はフィードバック体制の整備を中心に行っていく予定。共通の質問項目を決め、拠点病院で

アンケートを実施し、7月6日に全体共有を行ったため、その結果をご報告させていただきたい。

(当日資料P23) 四国がんセンターについては、2年前よりアンケートを実施しており、今年度が3年目となっているため、アンケート結果をまとめた。(資料P26)

アンケートについては今後も継続していき、相談対応の質向上に向けて取り組んでいきたい。

次年度以降の活動についても協議していく予定であり、第2回までの専門部会に、協議する場を設けたいと考えている。

3) チェックリスト WG

和田 美恵子 (住友別子病院)

・昨年度実施報告について

グーグルフォームを用いた集計を行った。例年通り、PDCA サイクル確保のため、28項目の評価を全病院が実施した。重点項目で、患者を孤立化させないための支援の8項目、研修参加の促進3項目の計11項目について評価した。重点項目を本部会で情報共有することで、意識して取り組むことができ、改善につながったと考えている。その他の意見に関しては、該当するWGにて活動に反映してもらえるとよいと考えている。

・今年度の活動目標、スケジュールについて

昨年度同様の方法で集計を行う予定。重点項目については、「院内スタッフへの周知体制、診断後早期にがん相談支援センターへ立ち寄っていただく仕組みづくり」とする。今後は、承認された入力フォームをメール配信し、11月末提出期限とし、各病院でチェックリストを実施していく。2024年1月末までに、集計し、課題の抽出と来年度の活動を検討していく。

4) サロン担当者 WG

・北里大学がんサロン紹介&意見交換会報告【令和年3月20日オンライン】

令和5年3月20日にオンラインで実施し、19名が参加した。北里大学の医師の講演やサロン担当者の意見交換の2部構成で実施した。

(北里大学がんサロン紹介について) 松本 陽子 (おれんじの会)

コロナ禍でも、オンラインを用いてサロン活動を行っており、佐々木治一郎 Dr が中心となってサロンを実施していた。佐々木 Dr の講演では、特定の職種ではなく、あらゆる職種が関わっていくこと、サロンを運営していくにあたって、個人情報をもどのように守るのか、通信手段の確保について、ルールを決めてシステム化してきたと話があった。テクニカルな部分のみでなく、重要なこと2点お話があったため、共有させていただきたい。1つ目は、病院全体でサロンに取り組む姿勢がうかがえたこと、2つ目は、サロンの評価は参加者の数ではなくその中の質で評価するべきだということをお話されており、その点を共有できたことがよかったと感じている。

(サロン担当者の意見交換会について) 関木 裕美 (四国がんセンター)

意見交換会の中で、各サロンの現状や悩みを共有し、オンライン開催の具体的方法や注意点を学ぶことができた。佐々木 Dr から、参加人数だけでなく、参加者が少なくても継続していくことが重要だという話が出たため、サロン運営を行う中で、大変励みになる機会であった。この意見交換

会を受けて、愛媛県でサロン担当者の交流会を開催してみてもどうかという話になり、今年10月末頃に、サロン担当者の交流会をオンラインで実施予定としている。

- ・ピアサポーター養成研修について
今年度予定は令和5年8月6日開催予定となっており、
10名（うち2名が男性）の申し込みがある状態。

6. 相談員研修、国立がん研究センター認定事業について

福島 美幸（四国がんセンター）

- ・「認定がん専門相談員」認定事業について
今年度の申請から、地域開催Ⅲ群の相談員研修が必須となっている。
- ・「情報支援研修」についてのお知らせ
（香川県・徳島県主催）【令和5年11月11日（土）予定】
「情報から始まるがん相談支援」研修～地域展開版～オンライン開催
開催方法：オンライン（Zoom）

II. その他

1. 2023年度愛媛県災害時連絡シミュレーション実施について(7/25)

7月25日にシミュレーション実施予定。速やかに返答をお願いしたい。

2. 災害発生時の部会活動中止・延期に関する取り決めについて（毎年周知）当日資料 P33

災害が起こった時には、研修会やWG、出張イベントがあった場合には、開催地に特別警報があった場合には中止となる。判断が難しい場合には、部会長が当日の朝6時の時点で判断する。協議会当部会のホームページにも掲載しているため一度確認をしていただきたい。

3. 今年度のスケジュールについて

8月5日に愛媛県の連携協議会専門部会の報告会を行う予定。

第2回の専門部会は、候補日が2つあり、2月3日か、2月17日のいずれかで実施予定となっており、専門部会よりも前に役員会があるため、その際に日程が決定する予定。会場は四国がんセンターとして、集合研修で開催予定としている。集合にならない場合には、11～1月にWEBで専門部会を実施予定。

議事録担当：済生会今治病院（次回は市立宇和島病院）